

重要文化財の関根作品の前に、柳沢学芸課長さんによる贅沢な解説です！
●7月20日・大原美術館展スペシャルギャラリートーク



こながら土粘土をつくりました。
土の感触って気持ちいい！
●7月11日・セカンドスクール・大森小学校

秋田県立近代美術館ニュース・アーク

ARK no.68

Akita Museum of Modern Art

ハタチのキンビ、 もりだくさん!!!



どきどき！作品解説を体験しました。
●7月24日・高等学校インターンシップ



中山人形店当主の樋渡徹氏を講師に、
オリジナルの土鈴をつくりました。
●5月31日、7月5日・美術館教室「工芸教室」



優雅な音色にうっとりしました。
●7月27日・トリオ・ドルチェ・コンサート



理科の教育専門監と学芸員のコラボ解説！子どもたちの目が輝きます！
●6月26日・セカンドスクール・睦合小学校



ホールの壁に、みんなのお魚アートが出現しました！
●5月11日・中村征夫写真展ワークショップ



生命力あふれる演奏と楽しいトークで会場が沸きました。
●5月18日・サクソ四重奏コンサート



木でつくる、思い思いの「アートな小箱」
●8月3日・木のクラフト教室

関係者によるテープカット。オープンの瞬間です！

● 7月18日・大原美術館展開場式・内覧会



秋田魁新報創刊140年・秋田県立近代美術館開館20周年

大原美術館展

Masterpieces from
OHARA
MUSEUM OF ART

7.19(土) - 9.15(月)祝

秋田魁新報創刊140年と秋田県立近代美術館開館20周年を記念して開催された「大原美術館展」は、連日、県内外からたくさんのお客様をお迎えし、大好評のうちに幕を閉じました。オープン初日に開催された大原理事長・高階館長による記念講演会には150名の来場者が訪れ、示唆に富んだお話し、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。また、翌日実施された柳沢学芸課長のギャラリートークにも、150名を超える来場者があり、こちらも大盛況でした。今回の展覧会では、小学生模写体験プログラム、絵画コンクールなど、未来を担う子どもたちを対象にしたプログラムも用意された他、トリオ「ドルチェ」によるコンサートや大原美術館展出展作家・渡辺おさむさんによるワークショップにも、様々な年齢層の方が訪れ、楽しいひと時を過ごすことができました。

河野名誉館長も、講座の特別編で熱弁をふるわれ、また、最後に実施した油彩画教室にもたくさんご参加いただきました。あっという間の2ヶ月間でしたが、開場式で高階館長が述べられた「作品は小さな文化大使」の言葉通り、大原美術館が大切に守り伝えてきた文化遺産を、秋田にお迎えし、多くの方々と分かち合えたことは、私たちの大きな喜びです。この展覧会を通して学んだ様々な事を、今後にかかしていきたいと思えます。(担当:奈良)

● ワークショップ・イベントなど

大原理事長・高階館長による記念講演会	7.19
柳沢学芸課長によるスペシャル・ギャラリートーク	7.20
ギャラリートーク	7.26、8.24
夏休み 小学生 模写体験プログラム	7.29、30、31
アーティストワークショップ&サイン会	8.9
名誉館長講座特別編	9.6
ミュージアム・ワークショップ	9.6、7

● ミュージアムコンサート

トリオ・ドルチェによるコンサート	7.27
出演：北嶋奏子さん(ヴァイオリン)、吉田妃呂子さん(フルート)、佐々木久美子さん(ピアノ)	

上半期に実施したそのほかの事業 ●●●●●○

ミュージアムコンサート (中村征夫展開催記念)	
● サックス四重奏コンサート	5.18
出演：河道麻美子さん(ソプラノサックス)、松橋由美子さん(アルトサックス)、下田緑さん(テナーサックス)、半田広幸さん(バリトンサックス)	
● マンドリンと音楽仲間たち	6.22
出演：平 丈恵さん(マンドリン)、神原順一さん(ギター)、斎藤洋さん(ピアノ)	
みんなの教室	
● 木のクラフト教室 いろんな木でつくる！アートな小箱	8.3
講師：当館学芸主事	

大原理事長・高階館長のお話し、おもわず「ふむふむ」!

● 7月19日・大原理事長(上)・高階館長(下)による記念講演会



私だけのすてきなケーキがかんせい!
● 8月9日・渡辺おさむ氏のワークショップ



実物を前に、何を感じとるかな?
● 7月29日・小学生模写体験プログラム

美術館教室

● 工芸教室 オリジナル土鈴づくり	5.31、7.5
講師：榎渡 徹氏(中山人形店当主)	
● アクリル画教室 静物を描く	9.27、10.4、5
講師：大須賀 勉氏(画家)	

館外展示など

● 出前美術館 能代エナジウムパーク	8.9～17
八峰町立水沢小学校	9.16～21
● ネットワーク事業 会場：秋田県立図書館特別展示室	
第1期：生誕110年勝平得之展	9.27～10.27

生命あふれる不思議の世界

海への旅

中村征夫写真展

4月26日(土)～7月13日(日)

海への
想は深く、
つよく



中村征夫アーティストトーク&サイン会 ●6月1日

秋田県潟上市出身の写真家・中村征夫さんの写真展は、当館では平成21年以来2度目の開催です。今回は近年新たに組み込まれている「海の中の光」というテーマをはじめとして、ライフワークである「東京湾」や「知床」、人気の高い「海中顔面博覧会」などを含めた6つの章、207点の作品で構成された、とても見応えある内容でした。開催を記念し行った中村さんご本人によるアーティストトークも、大変興味深い内容と巧みな話術で、参加された皆様も大満足です。中でも知床の海の生命をはぐくむ流水の恵みや、産卵のためボロボロになりながらも深海から浅瀬にやってくる母親イカのお話などは、半世紀近く海の撮影をされてきた中村さんならではの内容で、その瞬間を撮影した展示写真とあわせて見ると、より深く展覧会を楽しむことができました。

中村征夫さんの展覧会は、海に棲む生き物たちの様々な姿形を見ることができると同時に、温暖化や文明の影響で変わってゆく海の現状を知ること、我々人類が今後いかに海と関わってゆくべきかを、考える機会にもなったのではないかと思います。(担当:木村、藤井)

- アーティストトーク&サイン会 4.26、6.1
- ギャラリーツアー 5.4、6.8
- ワークショップ 5.11

Art Report Akita 2014 コレクション展 第1期

Suian Hirafuku versus Kogyo Terasaki

穂庵VS廣業

4.9(水)～7.6(日)

100年ぶりの競演!



今回初展示された、平福穂庵の《蘭亭曲水》(寄託作品)

第1期コレクション展では「穂庵VS廣業」と題して、平福穂庵と寺崎廣業の作品を取り上げました。平福穂庵は幕末の角館に生まれ、京都での修行ののち、明治維新後に中央で近代の日本画家の先駆けとして活躍しました。一方、寺崎廣業は同じく秋田出身で、明治・大正を代表する大画家として名をはせた人物です。

この二人の出会い、それは若き日の廣業の作品を穂庵が目にしたことに始まります。その作品から実力を感じ取り、廣業を東京に呼び、腕を磨く算段を整えたのが穂庵なのです。かくして始まった、同居生活は半年にも満たないうちに終わるのですが、後年の廣業の言葉には、穂庵に関するものが散見されます。

今回はこの二人の作品を主題別に並べて展示しました。なかでも穂庵の《蘭亭曲水》襖14面(当館寄託作品)は初公開の作品で、大きな目玉となりました。また、廣業の作品も、古典研究と実地での見聞が活かした《瀟湘八景》、数年越しの構想のもとに日の目をみた大作の《杜甫》などの名品を展示。二人の画技の競演をお楽しみいただきました。(担当:内田、文責:鈴木)

- ギャラリートーク 4.13、27

Art Report Akita 2014 コレクション展 第2期

恋する日本画

7月9日(水)～10月1日(水)



展示作品・寺崎廣業《夜聴歌者》に込められた「恋のお話」とは?

●7月13日・ギャラリートーク

恋は甘いか? すっぱいか?

誰にも若い頃、大人がする恋に恋する時期というものがあります。この頃の恋はほのかに甘い恋と言ってよいでしょう。ほのかに甘い恋は好きになるほどに甘く、そして寝ても覚めても思わずにはいられない、切なくすっぱい恋へと変わっていきます。しかし、恋は盲目と言われるように、自分自身を見失って周りに迷惑をかけるような苦い恋となってしまうと困ります。そのような恋は、昔から物語や絵の格好の題材として使われ、表現されてきました。本展覧会では、当館の所蔵作品から、中国の楊貴妃や八百屋お七の悲しい恋、神様や動物もする恋など、恋について描いた作品や恋の話に結びつけた作品を展示し、恋のいろいろをご紹介しますとともに、鑑賞者の皆さんと一緒に恋の物語を考えてみました。(担当:保泉)

- ギャラリートーク 7.13、8.10

秋の美術館は **ネコ日和** 

招き猫亭コレクション 猫まみれ展

アートになった猫たちー浮世絵から現代美術まで

9月21日(日) - 11月24日(月・休)

猫作品コレクター「招き猫亭」の逸品を県下で初めてご紹介します。上野国新田郡のお殿様が描いた猫絵や、昨今話題の歌川国芳の浮世絵をはじめとする江戸時代の猫作品から、現代作家の一風変わった猫作品まで、その数290点以上。さらに、本展開催にちなみ、当館の所蔵する藤田嗣治の猫作品もあわせて展示しています。

また、猫まみれ展では楽しいイベントもたくさん。猫写真持参による「猫割」（※割引条件はチラシ等でご確認ください）、ご来場の方へのオリジナルしおりのプレゼント、作品コンテスト「みんなで猫まみれ」で募集した作品の展示、ジャズコンサート、ワークショップなどなど。詳しくは公式ホームページ、ツイッターをご覧ください。魅惑の猫たちとともに、皆様のご来場をお待ちしております。（担当：鈴木、西野）
□ ギャラリートーク 9.28



(左から) テオフィル・アレクサンドル・スタンラン《猫と少女》1898年、高橋弘明《ジャパニーズ・ポプティル》1924年、歌川国芳《猫の百面相》1840年代

REPORT! ●●●●●●○

先生のための美術館講座「美術館と学校との連携」

7月20日、県内の教職員等と美術館の学芸員が「美術館と学校との連携」についてともに学び合う講座を開催しました。午前中は大原美術館学芸課長の柳沢秀行氏を講師にお招きし、「大原美術館の社会連携活動 学童期の観客を主に」と題して講話をしていただきました。美術館の役割や大原美術館の魅力ある教育普及活動についての紹介などがあり、感性豊かな子どもたちを育てるための視点について意義深いお話をうかがうことができました。

午後からは、キンビ・アートカード（当館の所蔵作品を元に作成したアートカード）を用いたワークショップを行いました。「○○美術館をつくろう」や「推理ゲーム」など、ゲーム感覚で楽しめるため、参加された先生方はみな夢中になって取り組んでいました。この活動では「見る」「考える」「話す」「共感する」などの力を育むことを目的としており、図画工作・美術科以外の教科の学習でも活用できます。学校でも使ってみたいという声がたくさん聞かれました。（担当：西野）



■どんな美術館をつくりましょうか？カードを前に話がはずみます。

こんなことも
やっています!

美術館 HP は「秋田県立近代美術館」を検索!美術館 Twitter もご利用ください。

INFORMATION ●●●●●●●●

これからの展覧会

特別展

- 生誕 110 年 福田豊四郎展 11.30 ~ 2015.2.1
- 日々の写生 画家たちの生きた時代 2015.2.7 ~ 4.19

コレクション展

- 第3期 ふるさと秋田・美の系譜 10.4 ~ 2015.1.12
- 第4期 所蔵品名作選（仮題） 2015.1.23 ~ 4.5

第29回国民文化祭・あきた2014 横手市主催事業

- 後三年合戦絵巻詞の世界 10.4 ~ 11.3
- ネットワーク事業 第2期
- 洋画セレクション 12.8 ~ 2015.1.31

つくる、しる、たのしむ

つくる

- 小学生低学年の児童から一般まで参加できます。小学生低学年の児童が参加する場合は保護者要同伴。
- 猫まみれ展ワークショップ『ねこde版画』 10.19
- 『フェルトでつくるあかりっこ』 11.9
- 『木によるオブジェづくり』 12.7

しる・たのしむ

- 招き猫亭コレクション 猫まみれ展 ギャラリートーク (ABS アナウンサーさんと) 10.12、11.15
- ミュージアムコンサート 10.18、2015.2.8

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30 - 17:00 (入館は 16:30 まで)
休館日 12/29 - 31、2015.1/13 - 22 (予定)

013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46
TEL:0182-33-8855 FAX:0182-33-8858
E-mail akitamma@rnac.ne.jp

交通 車●秋田自動車道・横手インターより3分
バス●横手バスターミナル (JR 横手駅近く) ~ ふるさと村 15分

●発行編集・秋田県立近代美術館
●2014年9月30日発行
●印刷

